

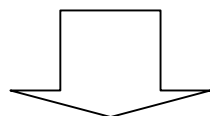
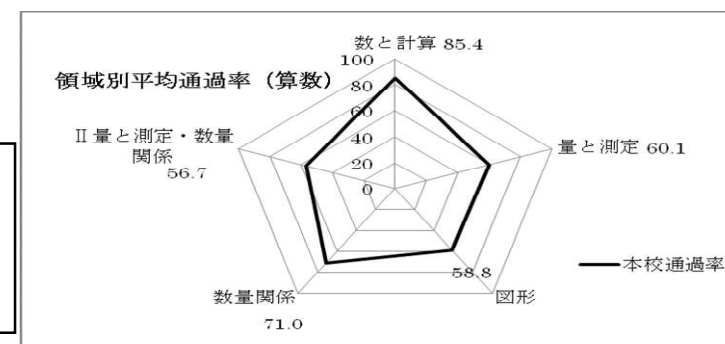
平成 25 年度「基礎・基本」定着状況調査 算数（呉市立昭和西小学校）

（昨年度の課題）

- ・ 図形を切って移動させるなど、念頭操作をし工夫して考えることができにくかった。（量と測定）
- ・ 図形の特徴を表す定義を言葉で明確に言い表すことができにくかった。（図形）
- ・ 表から読み取った変化の様子を一般化して式に表すことができにくい。（数量関係）

学校通過率

71.4%



（今年度の取組）

- ・ 日常生活や自然事象と結びついた学習内容となるように、体験的活動を積極的に取り入れ、量的な感覚を豊かにしていく。
- ・ 具体物や視聴覚機器等を活用した、算数・数学的活動を通して、平面図形や空間図形についての基礎的な概念や性質についての理解を深めさせる。
- ・ 「のびっ子タイム」や朝学習の時間に、数と計算の反復練習、長さ（距離）や重さなどの量感が身につくような指導を行う。

（今年度の成果）

- ・ 分数の意味と表し方ができるようになっている。（小問9…73.2%）

（今年度の課題と要因及び対策）

【算数調査票】

- ・ 領域別通過率を見ると、タイプⅡ（活用問題）の通過率がよくない。
- ・ およその面積（三1）が通過率 28.0%
およそ 1 cm^2 、 10 cm^2 、 100 cm^2 、 1000 cm^2 の量感が身についていない。
→文章問題などのときにも、およその面積をのイメージを持たせる。
- ・ 正方形の定義（七）が通過率 14.6%
図形の特徴を表す定義を言葉で明確に言い表すことができにくい。
→図形の定義を習熟できるよう、「のびっ子タイム」で反復練習をさせる。
- ・ 伴って変わる数量（十一2）が通過率 48.8%
表から読み取った変化の様子を一般化して式に表すことができにくい。
→式と図を関連づけさせて説明する経験を持たせる。

【質問紙】

- ・ 算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています 51.2%
- ・ 算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています 53.7%

式をよんだり説明したりする練習をさせるとともに、自分の考えを話す機会を多くする。

文章問題では、分かっていること・尋ねられていることに線を引く習慣を身につけさせ、演算を選択する際の助けとなるようにする。